

令和 4 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成 1 9 年 4 月 1 日設置

令和 3 年 6 月 3 0 日 フィーダー系統 確保維持計画 策定

令和 4 年 7 月 1 5 日 フィーダー系統 確保維持計画 変更
(今井・前原線のキ口程修正)

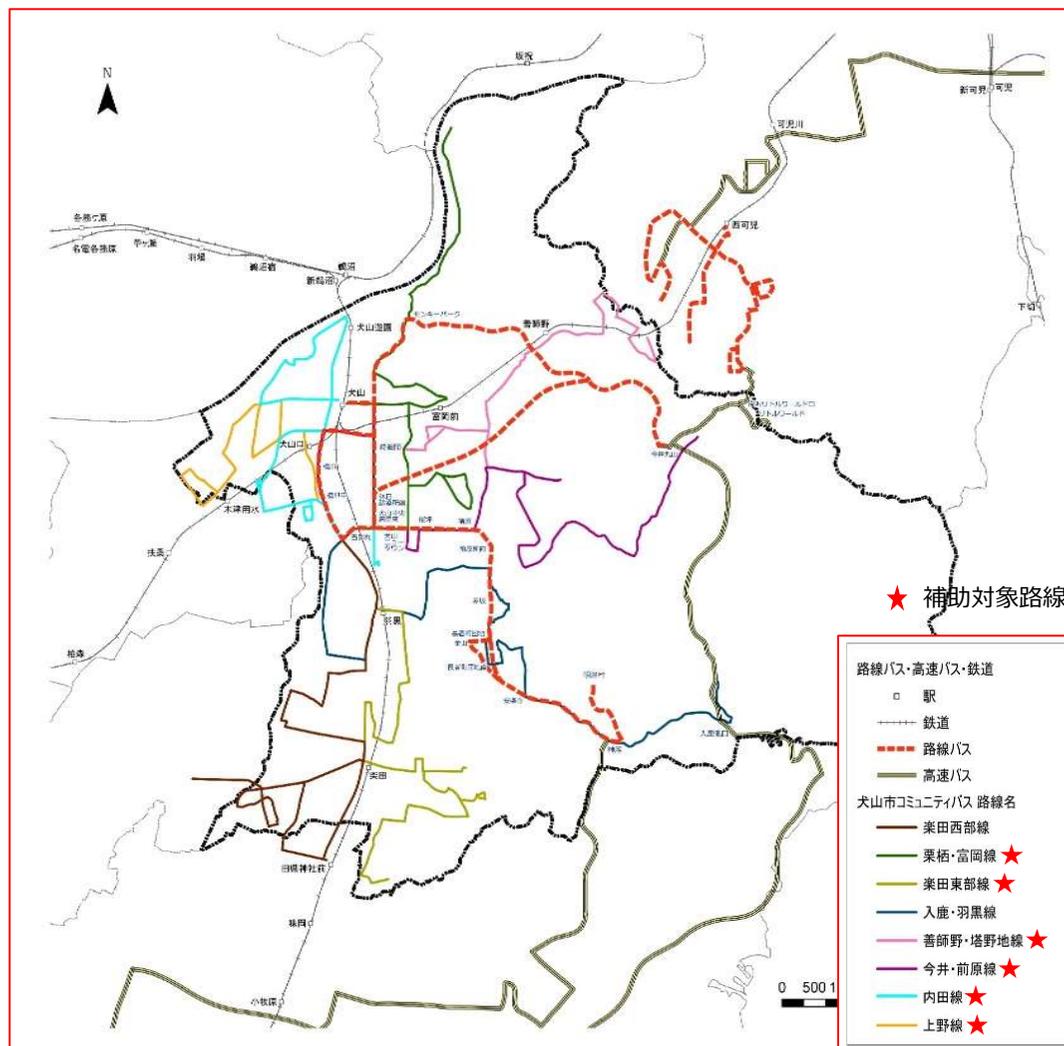
【本市の目指す姿・方向性】

第5次犬山市総合計画に基づき、効率的、効果的なコミュニティバスの運行により交通空白地の解消と安心して利用できる移動手段の確保を目指している。

また、都市計画マスタープランに基づき、「いつまでも暮らし続けたい都市」を目指すべく、バス交通の利便性を向上させ、多様な都市機能が充実した犬山駅、羽黒駅、楽田駅等の主要鉄道駅周辺と民間の路線バスやコミュニティバス等の公共交通を接続し、ネットワーク化を目指している。

【市内公共交通の役割分担】

- 鉄 道：市域を跨ぐ広域輸送
- 民間バス：主に観光路線を軸とした輸送
- タクシー：民間バス及びコミバスでカバーできない領域（地域・時間）の輸送
- コミバス：鉄道への接続を軸とした輸送



鉄道会社の取組み

名古屋鉄道株式会社



★各季にキャンペーンを実施

犬山市の観光関連のポスターを車内や鉄道各駅に掲示し、鉄道利用促進を図った。
また、R4年度からは通年キャンペーンとして展開し、年間を通じて犬山のPRを行っている。

R3.10.1~R3.12.5
秋の犬山キャンペーン

R3.12.20~R4.2.15
冬の犬山キャンペーン

R4.3.1~R4.8.31
通年キャンペーン（春夏版）



★ブランディング

犬山市内に2つのホテルを開業したことを機に、犬山の新シリーズ広告をスタート。
ポスターや特殊広告を車内や鉄道主要駅に掲示し、鉄道利用促進を図った。

以上のことから、犬山市への来訪者が増加することにより、コミュニティバス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

タクシー会社の取組み 名鉄西部交通株式会社

★ご縁を繋ぐ「犬山 絵馬タクシー」の運行

観光庁の既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業の採択を受け、名鉄西部交通株式会社が犬山市と犬山市観光協会と共同で企画。観光客に対して、公共交通の利用促進を図ることができた。

- 運行日 令和3年12月11日～令和4年2月27日
※土曜日・日曜日・祝日のみ運行
※12月31日～1月7日は除く
- 運行時間 9時30分～16時00分までの乗車
※降車は16時30分まで
- 運行区間 犬山城下町・大縣神社・桃太郎神社の3箇所を結ぶ
- 運賃 定額運賃（1乗車1,000円区間と2,000円区間）



「まん延防止等重点措置」が発令されるなど、新型コロナウイルスの影響を受けたが、期間中27件の利用があった。

犬山市へ来訪者が増加することにより、コミュニティバスの利用者数の増加にも繋がった。

路線バス会社の取組み

岐阜乗合自動車株式会社



★観光のハイシーズンに増便対応することで、満車対応を図り、
利用者の利便性向上を図った。

◆リトルワールド・モンキーパーク線◆

ゴールデンウィーク期間 (R 4. 5)
3日間実施 増便：5本/日
夏季休暇期間 (R 4. 7、9)
7月 平日6日間実施 増便：9本/日
休日4日間実施 増便：6本/日
9月 4日間実施 増便：6本/日

◆明治村線◆

ゴールデンウィーク期間 (R 4. 5)
3日間実施 増便：1本/日
夏季休暇期間 (R 4. 8)
平日6日間実施 増便：9本/日
休日4日間実施 増便：6本/日



犬山市へ来訪者が増加することにより、コミュニティバスの
利用者数の増加にも繋がった。

路線バス関連の取組み

わん丸君バス



【取組み①】 Googleマップへの反映

観光客等利用頻度の少ない利用者が容易に検索できるように、GTFSデータをGoogleマップ上に公開することで、利便性の向上を図った。

公開日：R3.11.10(水)～



【取組み②】 バスロケーションシステムへの混雑状況の反映

バスの混雑状況がリアルタイムで把握できるように、バスロケーションシステム上に混雑状況を搭載することで、利便性の向上を図った。

反映日：R4.5.2(月)～



【取組み③】 キャッシュレス決済の導入

支払方法の多様化に対応するためキャッシュレス決済（PayPay）を導入し、利便性の向上を図った。

開始日：R3.11.1～

利用人数：R3年度 99人 ※R3.11月～R4.3月

R4年度 363人 ※R4.4～10月



【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
タクシー車両による満車対応 	わん丸君バスが満員に達した際、タクシー車両を活用することにより、目的のバス停まで運行することで利便性の増進を図る。	R3. 10～R4. 9 満車件数：17件 タクシー乗車：34人	紅葉シーズンの栗栖・富岡線において満車となる頻度が多い。栗栖富岡線については、路線の関係で13人乗りの車両で運行しているため、路線変更等により33人乗りの車両で運行できれば、満車を回避することができる。
紅葉期間中の増車対応 	紅葉期間中に度々満車となる栗栖・富岡線について、追走対応することで、利用者の利便性を図る。	R3.11.22～R3.11.26の5日間 利用者数：127人	実施期間中はすべての利用者が乗車することができた。しかし、実施後の週末に寂光院がテレビで放送されたことから、翌週に満車が多発してしまった。紅葉のピークの他にメディアの状況にも注視する必要がある。
新型コロナウイルスワクチン接種無料乗車 	新型コロナウイルスワクチン接種の促進及びわん丸君バスの利用促進を図るため、ワクチン接種が目的の乗車について無料とする。	R3. 5. 17～ 利用者数：375人	ワクチン接種会場までの移動手段として機能させることができた。今後も、ワクチン接種終了まで継続して実施していく。

【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>小中学生無料乗車</p> 	<p>モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生に無料乗車の機会を設け、わん丸君バスの親しみを深めてもらい、公共交通の利用促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年冬休み 利用者数：138人 ◆令和4年春休み 利用者数：313人 ◆令和4年夏休み 利用者数：495人 	<p>コロナ禍においては、利用が減少していたが、徐々に回復してきている。子供だけの利用も多いため、バスの乗り方だけではなく施設への行き方等の周知も行っていくことで、利用促進を図っていく。</p>
<p>期日前選挙無料乗車</p> 	<p>投票率向上及びわん丸君バスの利用促進を図るために、期日前選挙期間に無料乗車を実施する。</p>	<p>～衆議院議員総選挙～ 無料乗車実施日 R3.10.20～29(土日除く8日間) 利用者数：82人</p> <p>～参議院議員通常選挙～ 無料乗車実施日 R4.6.23～7.10(土日除く12日間) 利用者数：79人</p>	<p>期日前選挙の投票所までの移動手段として機能させることができた。今後も継続して実施していく。</p>
<p>多子多胎世帯支援事業 (わん丸君バス無料乗車)</p> 	<p>犬山市で実施している事業におけるメニューの1つ。少子化対策として多子世帯の経済的支援や育児負担の軽減を図る。併せて、わん丸君バスの乗車機会を増やし、利用促進につなげる。</p>	<p>R4.4.1～ 利用者数：583人 ※R4.10末時点</p>	<p>ある程度の利用があり、多子世帯の経済的支援やわん丸君バスの利用促進に寄与している。今後は、無料乗車券を配布する際に乗り方等の周知をし、更なる利用者の増加を図っていく。</p>

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和3年度実績23,937人（達成率：82%）であり、目標は未達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計91,890人以上（R3.10.1～R4.9.30）

補助対象路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
栗栖・富岡線	11,520	12,144	○（達成率：105%）	10,637
上野線	12,870	14,712	○（達成率：114%）	12,886
今井・前原線	17,910	18,747	○（達成率：104%）	17,950
楽田東部線	5,130	5,207	○（達成率：101%）	4,782
善師野・塔野地線	13,590	15,702	○（達成率：115%）	16,116
内田線	8,370	9,109	○（達成率：108%）	7,916
計	69,390	75,621	○（達成率：108%）	69,355

補助対象外路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
楽田西部線	6,840	8,619	○（達成率：126%）	7,528
入鹿・羽黒線	15,660	18,461	○（達成率：117%）	17,318
総計	91,890	102,701	○（達成率：111%）	94,201

結果：年間利用者数総計102,701人（達成率：111%）であり、目標は達成

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和3年度実績23,937人（達成率：82%）であり、目標は未達成

【考察】

コロナ前と比較して、定期利用85%（通学90%、通勤85%）、定期外利用80%程度の状況。回復傾向ではあるが、テレワークやオンライン会議等の普及により、利用機会が減少しているため、他の公共交通との連携も含め、様々な観点から利用者数の増加を図る必要がある。

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計110,000人以上（R3.10.1～R4.9.30）

結果：年間利用者数総計102,701人（達成率：111%）であり、目標は達成

【考察】

コロナ禍において利用者が減少したが、減少率はコロナ禍前の事業年度との比較で約18%減にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していると考えられる。また、コロナが落ち着きつつあり、利用者数は回復傾向に転じている。しかし、生活様式の変化や今後の人口減少等により、完全にコロナ前の利用水準に戻ることは厳しい状況にあるので、今後の継続運行の実施のため、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。

※直近事業年度の乗車人数（全8路線）

H30.10～R1.9	115,184人	※コロナ禍以前
R1.10～R2.9	102,547人	
R2.10～R3.9	94,201人	
R4.10～R4.9	102,701人	

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。

★公共交通全体での方向性の検討

【課題①】

既存の公共交通以外の交通（選択肢）について、検討したことがない。

【課題②】

公共交通全体に関する市の基本方針が定まっていない。

【対応①】

デマンド型交通が犬山市にとって、地理的や人的な要因で、新たな交通手段となりうるのか検討するため、実証実験を実施する。

【対応】

地域公共交通計画の策定に着手する。

策定にあたっては、関係者間で連携して協議を重ね、犬山市の課題を整理し、課題解決に向けての目標設定や実施内容等を検討していく。

【対応②】

犬山市内を走っている、企業や病院の送迎バス等を把握するため、名鉄犬山駅において交通調査を実施する。

★わん丸君バスの利用促進

【課題③】

パス券（定期券）の新規購入者数が伸び悩んでいる。

【課題④】

楽田東部線の平均乗車人数が他路線に比べて低い。

【対応】

現在 85歳以上・小学生 6,500円
大人（上記以外） 13,000円
※6ヶ月間有効

→ 利用者のニーズに合った金額と期間（種類）について検討し、利用者の購入の利便性を図る。

【対応】

始点から終点までの各バス停付近において、店・病院等が少ないため使いづらいとの声がある。令和5年12月の再編に向けてルート・バス停等を検討し、駅や買い物ができる施設への接続により、利用者の利便性の向上を図り、利用促進につなげる。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>今後も路線ごとの利用特性や利用者の属性の分析に基づき、利便性の高いバス路線のあり方を検討していくことを期待します。</p>	<p>令和4年8月に、町内会対象のアンケート調査を実施し、地域ごとの特徴を踏まえたニーズの分析を実施しました。</p> <p>発 送 R4.7.15号の広報差し込みにて各町会長へ配布 対 象 各町内会(317件) 回 答 226件(71.2%)</p>	<p>令和5年12月にわん丸君バスの再編を予定しています。地元からの要望やアンケート調査の結果を整理し、利用者の利便性が高まるように再編案を検討していきます。</p>
	<p>地域公共交通計画の策定においては、昨年に実施された学識者への意見聴取や市民アンケート等の結果を踏まえ、コミュニティバス以外の近距離高速バスを含む路線バスや鉄道駅との接続にも配慮しつつ、引き続き関係者間で協議を重ねていくことを期待します。</p>	<p>計画策定に向けて、毎回の地域公共交通会議にて議題として、協議を重ねています。また、下記の調査等を予定しています。</p> <p>①交通調査 名鉄犬山駅の東西ロータリーにて、公共交通以外の交通(学校・企業・病院等の送迎バス)の利用状況を調査し、公共交通との連携が可能か検討する。</p> <p>②デマンド交通実証実験 一部地域において、デマンド型乗合タクシーの実証実験を実施し、新たな交通手段となりうるか検討する。</p>	<p>令和6年3月の計画策定に向けて、犬山市における課題を整理し、その課題解決に向けての基本方針や目標を定め、目標達成のために行う事業を検討していきます。検討にあたっては、関係者間で協議を重ねていきます。</p> <p>また、計画策定により、コミュニティバスの利用促進も図れるように、鉄道駅との接続等、乗り方も含め、地域住民に対する周知を図っていきます。</p>

※前回：令和4年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	コミュニティバスの評価については、路線毎に、各路線の特徴も踏まえた利用状況の分析をするようお願いいたします。	<p>令和3年10月に、OD調査を実施し、路線毎の特徴を踏まえた利用状況の分析を実施しています。</p> <p>実施日 R3.10.15(金) 対象 全8路線の全便 回答 506票</p>	<p>路線毎の利用特性に沿った運行サービスが提供できるように、OD調査の結果を分析します。</p> <p>また、名鉄電車や近隣市町のコミュニティバス等、公共交通相互の乗り継ぎの利便性も向上できるように、調整を図ります。</p>
	フィーダー系統のみならず、フィーダーが接続する幹線(鉄道等)、民間バス路線等、公共交通ネットワーク全体での分析・評価をして頂くことが重要です。	<p>令和3年9月に、公共交通全般に関するアンケート調査を実施しました。</p> <p>回答期間 R3.9.17(金) ~R3.9.30(木) 対象 市民2,000人 (無作為抽出) 回答 915票(45.8%)</p>	<p>調査結果から得られた課題を目的に沿って分類し、それぞれの対応策について、次年度から策定予定の地域公共交通計画へ反映させます。</p>
	そのためにも、地域公共交通計画を早期に策定されることを期待します。	<p>地域公共交通計画の策定にあたり、下記の調査等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者である学識経験者からの意見聴取 ・市民アンケート調査の実施 ・OD調査の実施 ・事業者ヒアリング(運行事業者) 	<p>令和4・5年度の2年間で、地域公共交通計画を策定する予定です。</p> <p>令和4年度については、令和3年度に実施した調査等を基に、地域交通の特性や課題を整理し、基本方針及び基本目標を定めていきます。</p>

※前々回：令和3年3月1日

【P D C Aの推進体制】

- 6月 フィーダー系統 確保維持計画の協議（P） ※計画期間：10月～翌年9月
↓実施（D）
- 12月 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価の協議
↓評価（C）
- 2月 第三者評価委員会
↓反映（A）
- 6月 フィーダー系統 確保維持計画の協議（計画期間：10月～翌年9月）
↓
...

【直近1年の協議会の実施日程】

日程	議事内容	日程	議事内容
令和3年 6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度生活交通確保維持改善計画について ・今井・前原線における迂回路線の廃止について 	令和4年 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通確保維持改善計画(案)について ・星和橋撤去工事に伴う路線等の変更及び迂回路線の廃止について(今井・前原線) ・地元要望に伴う路線等の変更について ・地域公共交通計画の策定について ・デマンド交通実証実験について 他
令和3年 12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 ・犬山市多子・多胎世帯子育て支援事業に係るわん丸君バスの無料乗車について 他 	令和4年 8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画(案)の策定について ・デマンド交通実証実験について ・わん丸君バス再編について
令和3年 3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度犬山市地域公共交通会議予算(案)について ・地域公共交通計画の策定について ・デマンド交通実証実験について ・監事の選任について 	令和4年 10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画(案)の策定について ・デマンド交通実証実験について ・わん丸君バス再編について